

「科学博物館で学ぶ」

担当教員名 谷本 勉

コース概要

日程	2016年8月～2016年9月
場所	各地の博物館等
参加人数	15人

コースのねらい

大学外で環境問題等を学ぶための現場（フィールド）として、各地の科学博物館を自在に使いこなせるようになることを目的とします。

内容

「科学博物館で学ぶ」は、グループ学習ではなく、参加者がそれぞれ立案した計画に従って学習していきます。具体的には、各地の科学博物館でどのような参加型の企画・セミナーが行われているかを調べ、参加するイベントを決定し、学習していきます。

最初の説明会において詳細な実施要領を解説します。その後、参加者は事前に学習計画書を作成し、担当教員と相談しながら、参加する学習内容についての理解を深めます。

学習計画に際しては、1つのテーマが4時間以上のものを1日分の学習として認め、それ以下のものを半日分として、合計4日以上以上の学習をすることを義務づけています。

たとえばFSさんの場合は以下のようなイベントに参加しました。

8月1日「国立科学博物館」：学習のテーマ「古脊椎動物学研究法講座」

学習の目的：脊椎動物化石をどのように研究するかを実践的に学習する。

8月7日「千葉県立中央博物館」：学習のテーマ「ミツバチと蜂蜜」

学習の目的：蜂蜜を生産するミツバチの生活を学び、蜂蜜しぼりを体験する。

8月19日「埼玉県立自然の博物館」：学習のテーマ「SLミュージアムトレイン」

学習の目的：SLに乗り、景勝地長瀨を訪ね、その美しさの秘密を知り、埼玉の自然について学ぶ。

8月24日「神奈川県立生命の星・地球博物館」：学習のテーマ「岩石プレパラート観察講座」

学習の目的：岩石をガラス板に貼りつけて、0.03mmまで薄くした岩石薄片を偏光顕微鏡で観察して火成岩を観察する。

学習を終えて

古脊椎動物のことに中学生レベルの知識しかなかったのが、実際に大学院で専攻している人や博物館で働いている社会人など詳しい人たちと勉強を一緒にすることで、自分も勉強に熱が入り勉強することの楽しさを思い出せました。今まで博物館には立ち寄りなかったのですが、これを機に各地の博物館に行ってみようという気持ちが生れました。



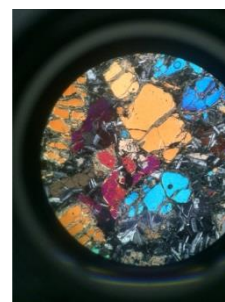
タヌキの全身骨格



長瀨の石畳



実習の成果の蜂蜜



岩石の偏光顕微鏡